



杏林

KYORIN DAIGAKU SHIMBUN

大学新聞

1～3 面 特別座談会 古川聡特任教授×学生

4 面 杏林学園創立60周年
2027年春、外国語学部到新学科「日中韓言語文化学科」開設へ

5 面 大学・大学院トピックス

6 面 リレーエッセイ (7)
韓国の首都「ソウル」はなぜ漢字表記がないのか？ 外国語学部准教授 金英周健康ひとくちメモ (34)
ストレスをなくすより付き合うとしたら？ 医学部ウェルネスセンター
スポーツ強化団体 春の大会報告

特別座談会 古川聡特任教授×学生

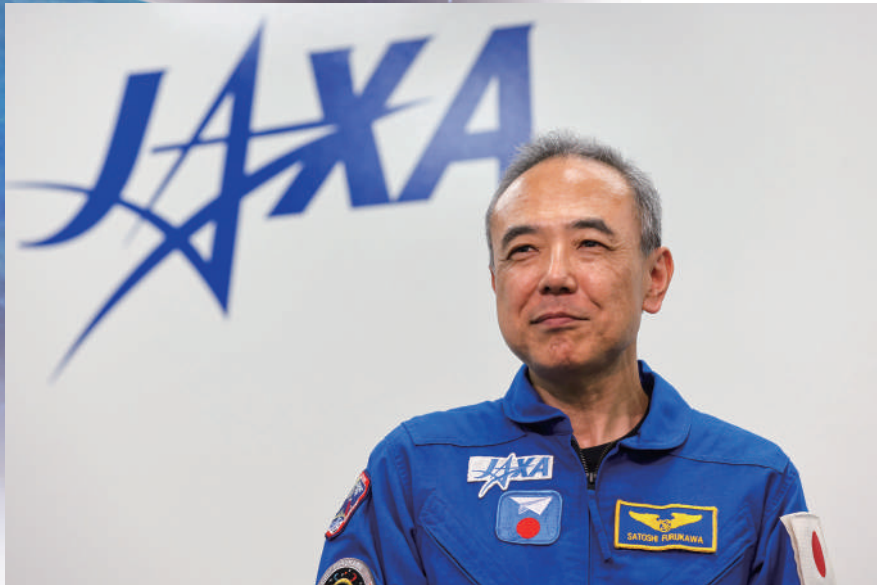
宇宙の経験を大学教育に生かしたい！

宇宙飛行士の古川聡さんが宇宙航空研究開発機構（JAXA）を卒業し、今年4月、本学の生命科学研究センターの特任教授に就任しました。2回にわたり国際宇宙ステーション（ISS）で仕事をし、合わせて366日間宇宙に滞在した記録は、日本人宇宙飛行士で2番目に長く、この間に宇宙と医学をつなぐ研究や実験で大きな成果を上げました。その貴重な経験を今度は教育の世界に生かそうと、本学医学部に加え、保健学部、総合政策学部、外国語学部の各学部を横断した学際的な学びの場を提供することになっています。医師、宇宙飛行士、大学教員と新たな挑戦を続ける古川先生。今号では、本学の学生との対談で、宇宙での実体験や挑戦する人生の尊さなどを熱く語った先生の言葉を集めます。

医師として働いていた33歳の時、宇宙飛行士募集のニュースを見て、子供の頃に抱いていた宇宙への憧れがよみがえり、宇宙飛行士を目指す壮大な挑戦を決意。その後、2回にわたり、ISSに滞在し、地上では得られない宇宙での無重力環境を使って、地上の生活を良くする様々な実験や有人月探査、その先に向けた技術実証を行った。そして、JAXAを卒業し、「自らの経験を次世代や社会に還元したい」として本学特任教授へ就任。

杏林大学 生命科学研究センター
特任教授 古川 聡（ふるかわ さとし）

1964年 神奈川県横浜市生まれ
1989年 東京大学医学部医学科卒業（2000年東京大学博士（医学）取得）
1999年 現・宇宙航空研究開発機構（JAXA）から宇宙飛行士候補者に選定
2001年 宇宙飛行士に認定
2011年および2023～2024年 国際宇宙ステーション（ISS）に2回にわたって長期滞在
2026年 杏林大学生命科学研究センター特任教授に就任



©JAXA



困難を乗り越え、チャレンジングな人生を！

古川先生の本学への入職は、松田剛明理事長と大学研究室時代に机を並べて学んでいたことが関係しています。当時の古川先生について、理事長は「毎朝、誰よりも早く来て、論文を読んだり実験を行ったりしていた。ご自身が納得しなければ、厳しい指導教授

の指示にも従わないなど、ご自分の考えを貫く確固たる姿勢が強く印象に残っている」と語っています。また、理事長は「学生の皆さんには、不可能と思われた夢を実現した人物が身近にいることを認識し、先生と触れ合うことで自分の夢を実現するきっかけや原動力

にしてもらいたい」とも話しています。

その古川先生は、着任早々、本学の学生にむけて、「学び続ける力」「自分で考える力」「チームで働く力」「レジリエンス（心のタフさ・回復力）」の“4つの力”を身に付けてほしいとメッセージを送りました。そして、6月1日に行われた4学部の学生4人との座談会で、先生は学生からの様々な質問に答えて、宇宙ミッションにおけるコミュニケーションのあり方、

困難な課題に直面した際の心持ち、挑戦しない人生のリスクなど、自らの経験に裏打ちされた貴重な助言を行いました。その語り口は穏やかな中にも強い説得力があり、学生たちは先生の言葉に多くの示唆と勇気を感じ取っていました。対談はおよそ2時間におよび、4人は先生の言葉に勇気づけられて晴れやかな表情を浮かべ、これからの学業や職業選択への向き合い方に大きなヒントを得た様子でした。



特別座談会



医学部
医学科3年

妹尾 琉都 (せのお りゅうと)

剣道部、総合医療研究部、外科手技同好会「ひも倶楽部」などで活動。学外では日本救急医学会学生・研修医部会などで活動



保健学部リハビリテーション学科
理学療法学専攻3年

齊藤 公樹 (さいとう ともき)

宇宙リハビリなどを研究する門馬研究室に所属。理学療法士として経験を積み、将来は海外勤務も希望



総合政策学部
総合政策学科3年

石渡 凜汰郎 (いしわた りんたろう)

環境問題について研究する齊藤ゼミに所属。座談会を機に宇宙ゴミの問題に興味を持つ



外国語学部
観光交流文化学科4年

小林 くるみ (こばやし くるみ)

観光学まちづくりを研究する古本ゼミに所属。オーストラリア・サンシャインコースト大学に1年間留学

宇宙飛行士をめざしたきっかけは？

齊藤:ずっとサッカーをしていましたが、ケガをしてしまい理学療法士を目指すことにしました。先生はなぜ宇宙飛行士になったのですか。

古川先生:子どもの頃、アポロ11号の月面着陸をテレビで見たり、ウルトラセブンが大好きで、「宇宙ってすごいな」と憧れました。高校の途中までは宇宙工学や天文学を学びたいと思っていたのですが、高校2年のときに医師の叔父から「患者さんがよくなって退院していくときが一番嬉しい」という話を聞いて、「やりがいのある仕事だな、やってみたい」と思い、医学部を目指しました。

その後医師になって8、9年経ったころ、テレビで「日本人宇宙飛行士募集」というニュースを見て、「これをやりたい!」と思っ

たのです。子どもの頃の宇宙への憧れがよみがえったのだと思います。

小林:いったん医師を離れることについて、先生はどんなお気持ちでしたか。

古川先生:当時は転職も一般的ではなく、「医師としてのキャリアはなくなるかもしれない」とも思いました。でも、新しい挑戦をすることで、これまで学んできたことが必ず生きたと信じて決断しました。挑戦しなかったら後悔するんじゃないかと思い、できる限りやってみようと考えたんです。

人生は選択の連続です。「今夜何を食べるか」「どこで働くか」など、何かを選ぶと何かを手放すことになります。だからこそ、後悔しないように自分で決めたいと思って歩んできました。

どんな学生時代でしたか？

古川先生:中学から大学まで野球部でした。大学では工学部の野球部(医学部に硬式野球部がなかったため)で活動していました。勉強は、医療の進歩とともに覚えることが増えた今の学生の方がずっと大変だと思います。私の場合、優先順位をつけたり、小さな学習目標を立てて一日一日着実に積み上げていくなど、勉強する中で身についた「学ぶ方」が役に立ちました。これは社会に出ても役立つものです。

妹尾:これから始まる病院での実習に期待と不安があります。先生の体験を教えてください。

古川先生:指導医のもとで、どっぷり病院で行う実習は、とても大変でしたが、多くを学べた貴重な経験でした。研修医時代の話ですが、1週間ほとんど家に帰れない働き詰めの日々がありました。医師になって最初の数年間がその後の医師生活を定める大切な時期でしたので、必死に取り組みました。体力的にもきつかったですが、今では笑って話せるようになりました。

誰でも頑張り時があると思います。将来の自分を思い描きながら、いろいろなことを吸収してください。

苦労や挫折はありましたか？

古川先生:ロシア語には苦労しました。初飛行はロシアのソユーズ宇宙船で、船内の表示や手順書、無線の交信などすべてロシア語でした。最初はアルファベットすらわからず、何度も壁にぶつかりました。必死に勉強して何年か経ったとき、ようやく「聞こえる!」と感じたのです。

齊藤:どんな勉強をしたのですか。語学学習のコツなどありますか。

古川先生:好きになることが一番。嫌々やっても身につきににくい。ロシア人は、一度仲良くなるととても親切にしてくれます。日本人と似ていませんか?自分が感じたちょっとした共通点からロシアの文化や言葉への関心が深まりました。

石渡:それでも挫折しそうなときは、どうすればよいでしょうか。

古川先生:「遊ぶ前に30分は勉強する」など、

勉強を始める“仕組み”を作るとよいでしょう。何事も始めるまでが一番大変ですが、始めてしまえば半分くらいはできたようなものです。

野球からも学びました。「練習は本番のつもりで、本番は練習通り」。この考え方は、宇宙でのミッションも同じでした。訓練は本番と思って自分にプレッシャーをかけ、本番は、訓練したことを普段通り行う。そうすると、平常心を保ちやすいことを学びました。何かの参考にしてもらえればと思います。

誰でも失敗します。「なぜ失敗したか」を考えて、そこから学び、次に生かすことが大切です。そうすれば少しずつ前に進めます。ただ、到達点は人それぞれです。野球を頑張ってもみんな大谷選手のようなプレーができるわけではありません。現実的な目標設定も必要だと思います。

常識が通じない
無重力のフシギな世界

国際宇宙ステーションの無重力環境では、床に見えるところを足でチョンと蹴ると、フワフワフワーって移動し、今まで天井だったところに足をつけた途端、感覚がクルッと入れ替わって、そこが今度は床になる。全て相対的で、自分にとっての上とか下だけの世界です。

つぶつ目を開けたときに、自分がどっちを向いているのかわからなくなる。初飛行前に先輩の宇宙飛行士に、「宇宙に行くと迷子になるよ」と言われて、そんなわけない、と思いましたが、なるんですね。3週間くらいでそういう状況には慣れてきます。宇宙では重力は当たり前じゃなかったことを学びました。

私たちが普段当たり前だと思っている重力が宇宙では当たり前ではないように、ときに常識と言われていることを疑うことも大切です。

古川先生 HISTORY

幼少期

- アポロ11号月面着陸を見る
- ウルトラセブンに夢中になる
- 少年野球チームに入る



小学校入学当時

高校生～大学生

- 叔父の影響で医学部をめざす
- 東京大学理科Ⅲ類合格
- 工学部の野球部(硬式)に入る

33歳

- 当直中に宇宙飛行士公募を知る

Turning Point



大病院勤務時

宇宙へ

- 2011年ソユーズ宇宙船で宇宙へ(宇宙飛行士候補に選出されてから12年)
- 2023年スペースXのクルードラゴン宇宙船で2度目の宇宙へ



©JAXA

杏林大学に

- 2026年4月着任

特別座談会



人生に「挑戦」は必要ですか？

古川先生：私は、自分の好きなこと、やりたいことを仕事にできたので幸運でした。でも、すべてが順調だったわけではなく、辛いこともありました。それでも宇宙で仕事をしたいという思いが原動力になり、乗り越えられました。

小林：大学卒業後の進路選択は、私たち学生にとって大きな挑戦です。何か大切なことはありますか。

古川先生：挑戦は自分で決めることです。自分で決めて、後悔しないように一日一日を充実させることが重要です。社会では、皆さんはフレッシュマンで、そのフレッシュさが強みです。世代の違う人とのコミュニケーションや価値観の違いに戸惑うかと思いますが、それも貴重な経験。いろいろな人との関わりを楽しんでほしいです。

齊藤：頭では理解できても、失敗して落ち込んでしまいそうです。

古川先生：辛いときもありますよね。そんなと

きは、失敗の原因を探ることが大切です。原因がわかれば改善策を考えられるし、周りの経験豊富な人から助言ももらえます。原因を理解して次に生かすことが重要です。

妹尾：医師から宇宙飛行士を目指すとき、周りの反対はありませんでしたか。

古川先生：幸運にも反対はありませんでした。もし反対されても、自分の強い思いをしっかりと伝えたと思います。

挑戦にはリスクが伴いますが、「挑戦しないリスク」もあります。チャンスがあるのに動かないのもリスクです。私は迷ったらやってみるタイプです。失敗しても自分で選んだことだし、そこから学び、次に生かせばいいと思っています。

大学生や中高生の時期は、いろいろなことに挑戦するのにとてもよい時期です。自分はどうだと決めつけず、視野を広げてさまざまなことを試してほしいです。皆さんの挑戦を心から応援しています。

宇宙飛行士にはどのようなコミュニケーションが必要ですか？

石渡：コミュニケーションや人間関係で大切にしていることは何ですか。

古川先生：「アサーティブ※」という、相手も自分も大切だという考え方です。日本人は自分を犠牲にして相手を大切にしがちな傾向がありますが、互いの人格を尊重し、意見の違いを議論することが本当のコミュニケーションだと経験から学びました。

妹尾：さまざまな任務を遂行する宇宙ステーションでは誰がどんな役割を果たすの

ですか。

古川先生：リーダーシップとフォロワーシップは、同じ目的を達成するために必要な力です。状況に応じてこれらを切り替えることで、チームで働く力を最大限に発揮できます。宇宙ステーションでは、ある時は意思決定をするリーダー、ある時はフォロワーとそれぞれが役割を切り替えます。大切なのは、フォロワーは、単にリーダーに従うのではなく、自分で考える積極的なフォロワーシップです。

※Assertiveは、Aggressive(攻撃的・支配的)とPassive(消極的・受動的)の中間で、自分の意見や気持ちをはっきり伝えつつ、相手の意見や気持ちも尊重する態度、話し方のこと

間一髪！
宇宙ゴミとの衝突危機

宇宙空間には人工衛星やロケットの残骸がゴミとして漂っています。こうした宇宙ゴミは年々増加していて、将来的には人類の宇宙活動の妨げになると予想されています。

最初の飛行で、宇宙ステーションに到着してから1か月ほど経った頃、ヒューストンの管制室から宇宙ゴミ接近のため避難指示が出たのです。通常は地上からレーダーで監視をされていて、いざというときは宇宙船がエンジンを吹いて軌道修正して回避しますが、そのときは直前までわからなかったのです。

万が一、国際宇宙ステーションの一部に宇宙ゴミが衝突しても影響が最小限になるよう、訓練どおり、部屋と部屋を仕切るハッチを端から全部閉めて、最後に緊急避難船のハッチを閉めてその中で待機しました。結局衝突は免れましたが、後から聞いた話では、相対速度秒速13キロメートルの宇宙ゴミが、300数十メートルの距離を通過していったそうです。ちなみにライフル銃の弾の速さは秒速1キロメートルです。とんでもないものが接近していたのです。

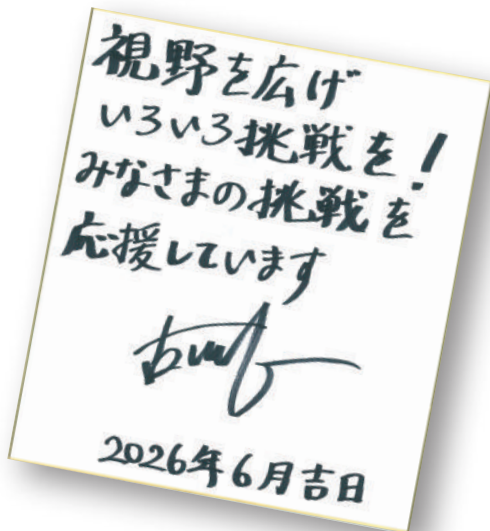
座談会を終えて

妹尾：僕は考えすぎて尻込みしてしまうことが多いのですが、失敗してもそこから学べばいい、まず挑戦してみよう、と前向きに考えられるようになりました。

齊藤：宇宙での生活の話は興味深かったです。アサーティブは初めて聞く言葉でしたが、とても参考になる考え方でした。心にとどめて行動したいと思いました。

石渡：宇宙ゴミの話に驚きました。これからは宇宙の環境も考える時代だと思いました。やりたいことがまだ見つからない僕の背中を押してもらえるお話も聞かせていただきました。

小林：宇宙の仕事という非日常的な体験を身近に感じることができました。社会に対する漠然とした不安も「人とかかわりを楽しむ」という言葉に勇気づけられました。





杏林学園は創立60周年を迎えました

1966年は日本の人口が1億人を突破。高度経済成長がピークに向かう時代の転換点でした。6月にはビートルズが来日しています。この年の1月、学校法人杏林学園が誕生しました。あれから60年、組織は拡大して総合大学に発展し、これまでの卒業生は47,038人。二つの付属病院は人々の命と健康を守り続けています。有意な人材を社会に送り出し、地域に貢献してきた学園の60年の歩みを振り返ります。

沿革

1966年 1月 学校法人杏林学園創立、杏林学園短期大学設置認可
1970年 4月 医学部開設
1970年 8月 医学部付属病院開院
1971年 4月 杏林大学付属高等看護学校開設
(2020年に閉校した医学部付属看護専門学校の前身)
1972年 4月 医学部、三鷹校舎で専門課程を開始

1976年 4月 大学院医学研究科開設
1979年 4月 保健学部開設
1984年 4月 社会科学部開設
(2002年総合政策学部に変更)

1984年 4月 大学院保健学研究科開設
1988年 4月 外国語学部開設
1993年 4月 大学院国際協力研究科開設



杏林学園短期大学校舎



開設当時の医学部



外來棟と第1病棟 (1971年頃)



開設当時の保健学部棟



社会科学部校舎

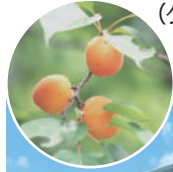


外国語学部校舎



八王子キャンパス (1988年頃)

2016年 4月 井の頭キャンパス開設
2018年 4月 保健学部臨床心理学科開設
2019年 4月 大学院国際協力研究科博士前期課程
(グローバル・コミュニケーション専攻) 開設



井の頭キャンパス

松田進勇記念アリーナ (手前) と
医学部講義棟A八王子キャンパス屋内練習場
(2022年完成)

杏林大学医学部付属杉並病院

スポーツ強化団体
(硬式野球部、男女バスケットボール部)松田進勇先生胸像設置
(2026年6月)

2022年 4月 大学院保健学研究科臨床心理学専攻開設
2023年 4月 保健学部リハビリテーション学科開設
(理学療法専攻、作業療法専攻、言語聴覚療法専攻の3専攻に)
2024年 4月 杏林大学医学部付属杉並病院開院

2025年 4月 保健学部健康福祉学科に健康スポーツコースを設置
2026年 4月 総合政策学部法律政治学科、経済経営学科開設
(総合政策学科、企業経営学科を改組)
2027年 4月 外国語学部日中韓言語文化学科開設
(中国語学科を改組)

外国語学部 日中韓言語文化学科 開設へ

- 日本語・日本語教育コース…… 様々な言語・文化にふれながら、日本語・日本語教育の世界を深める
- 中国語コース…… 実践的な中国語の運用力を高め、中国文化への理解を深める
- 韓国語コース…… 実践的な韓国語の運用力を高め、韓国の文化を探究する

2027年4月、外国語学部 日中韓言語文化学科(日本語・日本語教育コース、中国語コース、韓国語コースの3コース制)が誕生します。これにより外国語学部は、英語学科、日中韓言語文化学科、観光交流文化学科の3学科になります。新しい学科の学びや特長を各コースの先生に聞きました。



日中韓の言語・文化を比較して学ぶ

日本と中国・韓国との結びつきは、観光・留学・ビジネス・エンターテインメントなど多方面で一層深まっています。歴史的にも深く結びついている日中韓の3カ国は、互いに影響を与え合いながら、それぞれが独立した言語体系と文化的価値観を発展させてきました。これらの言語や文化的背景を学び、比較・理解することは、円滑なコミュニケーションを築き、相手の思考や価値観を知る上で強力な手段になります。新学科では、日本・中国・韓国の言語や文化を比較しながら学びます。それぞれのコースで専門性を高めつつ、英語をはじめとする外国語や多様な文化も学び、多角的な視点から東アジアや世界を理解する力を養います。

伝統ある「教育」と広がる「学び」

外国語学部では、長年にわたり日本語教育・中国語教育に取り組んできました。また、韓国語も第二外国語として多くの学生に学ばれてきました。学内には語学サロンや通訳・翻訳ブースを備えた教室があるほか、留学先も充実していて、卒業生は国内外の教育現場や企業、国際交流機関など幅広い分野で活躍しています。さらに、新学科では、観光交流文化学科や英語学科、総合政策学部など、学科や学部を越えた広い学びも可能です。こうした充実した学習環境は日中韓言語文化学科の大きな特長です。

異なる言語や文化を理解し、多様な人々とともに歩む力を身につけること。それは、日本語教師として大切な力であると同時に、これからの社会を生きるために欠かせない力となります。

東アジアを俯瞰する視野を持つことは多文化共生の社会を生き抜くために必要です。授業、留学、交流など全てが皆さんの力になるでしょう。

皆さんの好奇心や関心を発展させ、一段と深い知識を持った韓国語のプロフェッショナルとして活躍できるようサポートします。

教員からのメッセージ



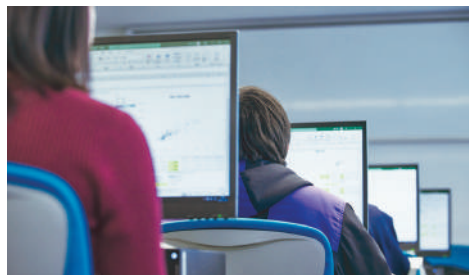
●日本語・日本語教育コース
あらし ようこ
嵐 洋子 教授

●中国語コース
もり まさし
森 和 准教授

●韓国語コース
きむ よんじゅ
金 英周 准教授

TOPICS

総合政策学部

文系学部で応用基礎レベルまで修了できる
データサイエンス教育プログラム

2025年度、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(MDASH)」の認定を受けた「杏林大学データサイエンス標準教育プログラム」の応用基礎レベルを修了した初めての卒業生7人が社会へ巣立ちました。

MDASHは、文部科学省が推進する数理・データサイエンス・AI教育の方針に基づき、2021年度に設けられた教育プログラム認定制度です。総合政策学部では、全国的にも珍しく、文系学部でありながらより高度な応用基礎レベルまで学ぶことができる教育プログラムを展開しています。

近年、生成AIの普及により、データやAIを正しく理解活用する力の重要性はますます高まっています。本学では生成AIが社会に広く普及する以前から、その技術や将来性について学ぶ機会を提供してきました。授業では、理論を一方的に学ぶのではなく、身近な話題を入口として直観的な理解を促すことを重視しています。現在は、文章生成や画像生成など生成AIの仕組みや活用方法に加え、ハルシネーション(誤情報の生成)や情報漏洩などのリスクについても学び、AIを適切に活用するための知識や判断力を養っています。

授業を担当するデータサイエンス教育研究センター長の坪下幸寛教授は、「応用基礎レベルで扱う内容は決して平易ではありませんが、修了生の皆さんは最後まで真摯に学び続けてくれました。MDASHで培った知識や考え方が、修了生一人ひとりの視野を広げ、今後の社会で活躍するための力につながることを期待しています」と話しています。

教職課程

専門が異なる同士で学ぶユニークな授業



本学では、保健学部・外国語学部・総合政策学部に所属し、養護教諭や保健科、英語科、社会・公民科の教員を目指す学生462人が教職課程を履修しています。日本の学校教育の現場では、世の中の急速な変化を背景に、児童生徒の個性を伸ばすとともに、社会で活躍できる資質・能力を育成することが求められています。

こうした中、本学の教職課程では教科の専門性に加えて、幅広い視野を持った総合力の高い教師の育成を目指しており、道徳教育や生徒指導等の分野では専門の異なる学生が共に学ぶ授業が用意されています。特に4年生

の後期に開講される「教職実践演習」では、教育実習を終えた上記3学部の学生が教職科目の総仕上げとして教師に必要な全領域(授業から生徒対応、保護者対応、そして危機管理まで)を学んでいます。グループワークでは受講学生の専門領域の違いによって多様な視点が提示され、それを共有することでより深く多角的な学びが実現しています。

教職課程委員会委員長の齋藤智志外国語学部教授は、「今の時代、教師は専門性だけでなく、周りと協力できる力や周りを取り込む力が必要で、学校教育を支える多様な人たちと良好な関係を築くためのコミュニケーション力が求められています。授業では本学の卒業生に来てもらい、教育現場の実際や自身のキャリアを話してもらうこともあります。本学の教職課程は本気で教師を目指す学生に対し、現場で必要とされる力を身につけてもらう授業を提供していきます」と話しています。

医学部

学生の研究意欲を助長 第5回 医学研究科研究交流会



6月3日、「医学研究科研究交流会」が三鷹キャンパスの医学部講義棟Aのラーニングコモンズで開かれました。イベントは、研究室間の交流を促進するとともに、研究に対する学生の関心を高めてもらおうと企画されました。外科・内科系など20の教室・研究部門が参加した会場には、相談・交流エリア、プレゼンテーションエリア、資料展示エリアなどが設けられ、昨年を上回る137人の学生が参加しました。交流エリアでは、研究を担当する教員の解説を聞きながら、眼科の外科手技トレーニングを行ったり、感染症対策や産婦人科手術といっ



た医療用VR教材を体験したりしました。また、プレゼンテーションエリアでは3つの教室・研究部門によるプレゼンテーションが行われ、4月に着任した生命科学研究センター宇宙医学研究部門の古川聡特任教授が国際宇宙ステーションと宇宙医学をテーマに講演しました。

学生たちからは、「医学研究は理工学分野との連携が大事だと思った」「研究や手技のトレーニングを知る機会が少ないのでありがたかった」「最高でした。興味のある分野をすべて回するには時間が足りなかった」「自分も宇宙に行くぞ!」などの感想が寄せられました。

保健学部

卒後研修会 ～卒業生の学びと交流の場～



リハビリテーション学科作業療法学専攻(前身の作業療法学科を含む)では、卒業後も学びと交流を継続できる機会として、卒業生が主体となって企画・運営する「卒後研修会」を実施しています。研修は、講義を受講するだけではなく、多様な分野で活躍する卒業生が登壇し、臨床での経験やキャリア形成、子育てと仕事の両立などについて具体的に語り合う時間も設けられていて、参加者が作業療法士としての将来を考える新たな視点や実践のヒントが得られる場になっています。

この会について、作業療法学専攻の原田



祐輔講師は、「卒後研修会は、卒業後も学び続ける機会であると同時に、卒業生同士がつながり、互いに刺激を受け合える大切な場だと感じています。今後も、多様な経験を共有しながら、それぞれの実践やキャリアを支え合える場として発展していくことを期待します」と話しています。

こうした取り組みは保健学部の他学科でも行われ、卒業後も学びを深めるとともに、同窓生や教員とのつながりを維持する貴重な機会となっています。

外国語学部・総合政策学部

海外からの研修生を受け入れ

外国語学部と総合政策学部は、今年も海外の大学から多くの学生を研修等の一環で受け入れています。

5月には今年で6回目となるアメリカのテキサスA&M大学から20人の学生が、また、クツタウン大学からは8人の学生がそれぞれ来校し、外国語学部や総合政策学部の学生と同じ教室で授業を受けたり、会話を楽しみながらコミュニケーションを学ぶ英語サロンで在学学生と交流したりしました。

6月には初めてインドのO.P.ジンドル国際大学から18人の学生を受け入れました。3週間の滞在中、異文化コミュニケーション、グローバルヘルス問題、経済、宗教、国際関係、マーケティング、観光学など多岐にわたるテーマで外国語学部と総合政策学部の教員による講義を受講し、日本への理解を深めました。在学生と一緒に受ける授業もあり、学生同士の交流も図られました。



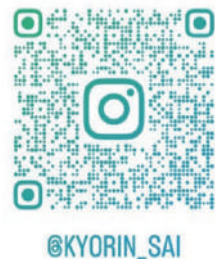
O.P.ジンドル国際大学の研修プログラムをコーディネートした坂本ロビン教授は、「日本とインドの大学間では、学生交流や学術交流が積極的に行われています。これからはビジネスの分野でもインドの人たちと関わる機会が増えるでしょう。このプログラムを通して、学生のうちから、多様な価値観に触れ、自身の視野を広げてほしい」と話しています。

2026杏林祭のご案内

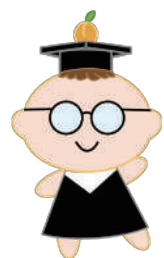
テーマ
「杏花爛漫」

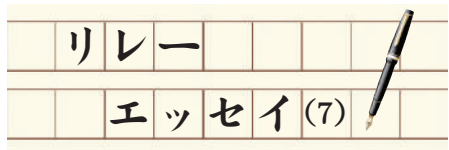
今年の杏林祭は、10月10日(土)、11日(日)に井の頭キャンパスで開催します。

【企画内容】古川聡先生の講演会／杏林大学卒業生の講演会／お笑いライブ／声優トークショー／屋外ステージ各種パフォーマンス／屋台／屋内展示など
詳細は以下2次元コードから。



@KYORIN_SAI

杏林大学広報キャラクター
きょぷりコット



杏林大学の先生たちに日頃の授業では取り上げない話題や知識、見聞などを自由気ままに書いていただくコーナーです。

韓国の首都「ソウル」はなぜ漢字表記がないのか？

近年、韓国のことばや文化への関心は世界的に高まり、とりわけ日本の若者の韓国への思いには熱いものがある。その隣国の言語、韓国語は固有の文字ハングルで表記される。漢字が使われてきた歴史があるため、語彙には多くの漢字語が存在する。そこでは、ハングルの発音に合わせて漢字を当てる場合と、意味に基づいて当てる場合があるのが特徴だ。

地名にもこうした特徴が見られ、多くは漢字表記を持つ。しかし、韓国の首都「ソウル」には漢字表記が存在しない。なぜなのだろう。日本統治時代には「京城」、それ以前の朝鮮王朝では「漢陽」や「漢城」と呼ばれていたが、1946年、米軍政庁のもとで「서울」が正式名称として定められた。この背景には、解放直後の時期に、民間メディアの間ですでに「서울」という地名が使われており、外国由来ではない純粋な固有語を使って国の再建を目指そうという国民の願望が強かったという事情があった。さらにこの言葉の起源は

新羅時代（BC57年～西紀935年）に遡る。新羅の首都「金城」（現在の慶州）は、純粋な韓国語の発音で「セボル」「シェボル」と読み、その意味に対応して漢字「金城」が当てられた。一方で発音に近づけた「徐羅伐」や「徐伐」という表記もあり、これらが変化して現在の「ソウル」へとつながったとされる。興味深いのは、「ソラボル」が単なる地名ではなく「首都」を意味する普通名詞としても使われていた点である。

「ソウル」という名称には、この国の千年以上の歴史が背景にある。この記事を読んだ皆さんは、すでに韓国の古都、慶州への旅に心躍っているのでは？

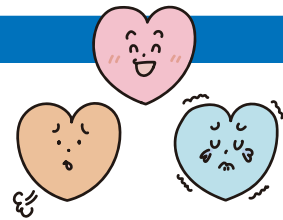


外国語学部中国語学科 准教授 金 英周（きむ よんじゅ）

韓国慶北大学校大学院日本語学専攻修士課程修了、同日本語学専攻博士課程単位取得退学、同韓国語教育専門家課程修了、広島大学教育学研究科文化教育開発専攻博士後期課程（日本語教育学）修了。修士（文学）、博士（学術）。広島大学、早稲田大学日本語教育研究センターなどで韓国語、韓国文化を教える。2026年4月より杏林大学外国語学部准教授

健康ひとくちメモ ③4

ストレスをなくすより付き合うとしたら？



「ストレス社会」と言われるようになって久しくなりました。つい「ストレス＝悪いもの」と思ってしまいがちですが、本当にそうでしょうか？

実はストレスには、集中力やパフォーマンスを高めたり、モチベーションを上げたり、成長や適応力を促したりする役割もあります。そもそもストレスとは、刺激に対する心身の反応のことで、出来事そのものよりも、どう受け止めるかによって心と身体を感じ方が大きく変わります。

がむしゃらに目の前のことを頑張るのも大切ですが、それだけが正解ではありません。目の前で起こっていることを過度に「脅威」と決めつけず、他の方法はないか、もっと効率よくできるやり方はないか、無理のない方法はないか、上手くできている人はどんな工夫をしているのかと視点を変えてみてはいかがでしょうか。誰かのやり方を見聞きしたり、試しに真似するうちに“これならできるかもしれない”と手ごたえを感じ、そこから私たちの想像力や行動力が引き出されることがあります。ストレスは関わり方次第で私たちを成長させてくれる“味方”にもなり得るのです。

もちろんストレスが強すぎると体調を崩したり、気持ちが落ち込むこともあります。大切なのは「今の自分の疲れ具合」を見極めることです。最近ミスが増えていないか、朝からすでに疲れていないか、そんな小さなサインに気づくことが第一歩です。

少し大変でも、やることで成長につながると思えるなら進めてみる。逆に、無理が続くそうなら、休憩したり、友人・家族・上司・同僚に相談することも大切です。

忙しいときほど物事は重なりやすいもの。そんな中でも上手にストレスと付き合っている人は、小さな目標を立ててコツコツ進めたり、「まずはやってみよう」「困ったら相談しよう」と柔軟に構えている傾向があります。自分に合ったペースや方法を探しながら、無理なく続けられるバランスを見つけていけるといいですね。



医学部ウェルネスセンター

公認心理師 豊田 彩花（とよた あやか）

東京家政大学大学院修了。精神科クリニック、精神科病院、児童養護施設等を経て2024年杏林大学着任

センター長 坪井 貴嗣（つばい たかし）

慶應義塾大学医学部卒業。慶應義塾大学病院などを経て2015年杏林大学医学部着任。専門は臨床精神薬理学と精神科治療学



スポーツ強化団体

硬式野球部

【令和8年度春季リーグ 3位】

東京新大学野球連盟1部 春季リーグ戦が4月1日から5月18日まで行われ、杏林大学は流通経済大学、駿河台大学、創価大学に勝利し、6勝7敗勝ち点3でリーグ3位となりました。個人タイトルは最多勝利（4勝）、最優秀防御率（1.22）に内野大翔選手（保健学部健康福祉学科健康スポーツコース2年）が選ばれました。また、ベストナイン・投手に内野大翔選手、捕手に萬代壮祐選手（同2年）がそれぞれ選ばれました。



○杏林大学	2 勝 1 敗	●流通経済大学
●杏林大学	0 勝 2 敗	○共栄大学
●杏林大学	0 勝 2 敗	○東京国際大学
○杏林大学	2 勝 1 敗	●駿河台大学
○杏林大学	2 勝 1 敗	●創価大学

【令和8年度 春季新人戦】

東京新大学野球連盟1部 春季新人戦が6月21日に飯能市民球場で行われました。新人戦は、1・2年生が出場するトーナメント戦です。杏林大学は東京国際大学と対戦し0対1で敗れ、2回戦進出はなりませんでした。

男子バスケットボール部

【第75回関東大学バスケットボール選手権大会 ベスト16】

4月11日から5月6日まで行われた関東大学選手権大会で、杏林大学は3回戦から出場。千葉商科大学（4部）、上武大学（2部）に勝利しましたが、5回戦で青山学院大学（1部）に敗れました。なお、3部以下でベスト16に残ったチームは杏林大学のみでした。



3回戦 杏林大学	109 対 64 千葉商科大学
4回戦 杏林大学	68 対 59 上武大学
5回戦 杏林大学	51 対 62 青山学院大学

【第66回関東大学バスケットボール新人戦 ベスト32】

関東大学新人戦の本戦が5月30日から6月7日まで行われ、杏林大学は1回戦で国際武道大学（3部）と対戦し、112対68で勝利。2回戦は1部の強豪 山梨学院大学と対戦し、60対84で敗れベスト32でした。

女子バスケットボール部

■「文武一道」「全員主役」を掲げ活動

女子バスケットボール部顧問 平澤 愛（保健学部准教授）
2026年4月に女子バスケットボール部がスポーツ強化団体としてスタートしました。現在は八王子キャンパスで1年生18名が、「文武一道」と「全員主役」を理念に、競技力の向上はもちろん、学業や人間的成長も大切にしながら活動しています。創部間もないながら、関東大学選手権では格上のチームにも勝利を収めました。これからも競技力と人間力を磨き、多くの方に応援されるチームを目指してまいります。



【第60回関東大学女子バスケットボール選手権大会 3回戦敗退】

4月18日から5月3日まで開催された関東大学選手権で、杏林大学は茨城大学、慶應義塾大学に勝利しましたが、3回戦で共栄大学（2部）に敗れました。

1回戦 杏林大学	105 対 30 茨城大学
2回戦 杏林大学	90 対 57 慶應義塾大学
3回戦 杏林大学	53 対 80 共栄大学

【第16回関東大学女子バスケットボール新人戦 3回戦敗退】

5月16日から6月7日まで開催された新人戦で、杏林大学は初戦で桜美林大学と対戦し、126対63、2回戦の鎌倉女子大学にも125対38で勝利しました。3回戦の相手は、2部の日本女子体育大学で、71対73で惜しくも敗れました。

編集を終えて

読者の皆さんにとって「宇宙」とはどんな存在ですか？私にとっては自分とは縁のない「憧れの世界」でしたが、今春に本学の特任教授として着任された元JAXA宇宙飛行士の古川聡先生の話は何回かお伺いする機会に恵まれて、最近は少し「身近な世界」と感じるようになりました。今号では古川先生と本学4学部の学生との座談会を巻頭企画として取り上げました。皆さんも紙面を通じて「宇宙」を感じていただければ幸いです（広報室長）

杏林大学新聞 編集部 / 広報室

TEL.0422-44-0611

E-mail koho@ks.kyorin-u.ac.jp

URL https://www.kyorin-u.ac.jp/

読後の感想をお聞かせください。
今後の紙面づくりの参考にさせていただきます▶



キャンパスの日常や
イベントなどを配信しています
ぜひご覧ください！
@kyorin_university

